

2024

平和コンサート in なかがよ

VOL. 25



地域活動支援センター「あおぞら」による共同制作

作品のプロフィールは3ページで紹介しています。
作品の複製及び転載は禁止します。

2024年

8/4



長与町民文化ホール 開演 14:00



ごあいさつ

長与町長 吉田 慎一

本日はご来場いただき、誠にありがとうございます。

指方実行委員長をはじめ、実行委員会皆さまのご尽力により、「平和コンサートinながよ」が開催されますことを、心より感謝申し上げます。

さて、昨今の世界情勢は、ロシアによるウクライナへの侵攻やイスラエル・パレスチナ情勢の悪化など、依然としてテロや地域紛争が後を絶たず、幾多の尊い命が連日犠牲となっています。このように、被爆から79年が経過し、戦争や原爆の悲惨さなど、記憶の風化が懸念されるなか、長与町では核兵器の廃絶と恒久平和を願い、平成6年に「平和で安全な町」宣言を行い、継続して様々な平和事業に取り組んでまいりました。

本日開催されます平和コンサートも、平和の尊さ、そして戦争の惨禍の記憶を風化させることなく、後世に引継ぎ発信していこうとの思いがつながり今回で25回目を迎えることができました。今年のコンサートは、高校生による「平和の詩朗読」をはじめ、5月から一生懸命練習に励んだ「子どものための弦楽器講座」の皆さまの演奏や「平和コンサートinながよ合唱団」の皆さまの合唱、そして「長崎OMURA室内合奏団」、「ジュネス弦楽アンサンブル」の皆さまによる演奏をお楽しみいただきます。出演者一人一人の平和への想いに、耳を傾けていただければと存じます。また、プログラム表紙の絵は、障害者通所施設ほほえみの家「あおぞら」で活動している皆さまが共同制作された作品です。プログラムに「あおぞら」のご紹介を、ホワイエに作品を展示しておりますので、ぜひご覧ください。

結びに、本日のコンサートに出演される皆さま、ご指導や運営に携わっていただきました皆さま、そして本日お越しいただいた皆さまに、心より感謝申し上げます。そして、すべての皆さまとともに、平和の祈りが世界のあらゆる人々の心に届きますことを祈念し、開催にあたりましての挨拶といたします。



ごあいさつ

平和コンサートinながよ実行委員長 指方 浩

皆様今日は「平和コンサートinながよ」にご来場いただき、誠にありがとうございます。2000年に音楽を奏でることによって平和の尊さを世界に発信しようと始まったこのコンサートも今年で25年目を迎えます。これも平和宣言の町長与町、そしてこの企画に賛同し来場し支えてくださった皆様のおかげと深く感謝申し上げます。

この四半世紀の世界の状況は、「平和コンサートinながよ」の願いも空しく、混乱を深め、緊迫の度を増し、悪化の一途をたどっているように思えます。平和の尊さを喜ぶコンサートと云うよりは、平和を希求するコンサートを開催し続けねばならない悲しみを覚えます。いのちより大切なものはない、戦争はしてはいけない、人を殺してはいけないと訴え続けてきましたが、自国の利益・民族の優先が生命より大事とされ、それを守るためには戦争を起し、無差別に人を殺しても良いとされているかのようです。生命より優先されるというその主義主張に対して私たちも生命より大切なものを見いださねばなりません。そして問いましょう「その生命より優先され戦争を是とするその主張は、全ての人に平和をもたらしていますか？」私たちは全てのいのちを大切にす平和こそいのちをかけて守らねばなりません。真の世界平和が成就するまでは生活も演奏者の心も穏やかではありません。

その中であって本日演奏する子ども達の直向きに音楽に取り組む姿の中に、平和に向けてのひとすじの光を感じます。この光指すところを大切に、音楽とその演奏行為に耳を傾け、尊い「和の世界」に思いを寄せたいと思います。

昨年11月、私は「平和コンサートinながよ」及び文化活動に対して教育文化功労の県民表彰を受けました。これはこのコンサートに携わってきた全ての方々を代表して私が頂いたものと思っています。これからも命の限り音楽により平和を訴えていきたいと思っています。

戦争がなくなり、この平和を願うというコンサートの一つの役割が終わるといいと思います。そして平和の尊さを喜び感謝する「平和コンサートinながよ」になり、日常の音楽演奏行為がそのまま平和の喜びの生活になりますよう、一緒にステージの演奏に耳を傾けていきましょう。そして本日のプログラムの最後に演奏される理想郷としての「ふるさと」に思いを寄せながら皆様と一緒に「明日をひらく、わが町長与」を歌い、平和への思いをともにしたいと思います。

本日はありがとうございました。

「平和で安全な町」宣言



－核兵器の廃絶を願って－



平和祈念碑「愛・二人」

世界の恒久平和は、人類共通の願望である。

現在・未来を通じて、平和で安全な町づくりを念願する私たち長与町民は、平和で安全な郷土を築き、子孫に引き継ぐことが、今を生きる私たちに課せられた最大の責務である。

原爆によって、長崎市とともに凄惨な被害を被った長与町は、核兵器の脅威をなくし、世界平和と人類の恒久的な安全・生存を保持するため、非核三原則を守り、核兵器のすみやかな廃絶と、紛争と戦争のない世界の実現を強く望むものである。

よって、長与町民はこの理念達成のため、誇りと責任をもって、ここに「平和で安全な町」を宣言する。

1994年9月19日

長崎県西彼杵郡長与町

令和6年度 長崎県障害者芸術文化活動普及支援事業



「平和コンサートinながよ」共同制作作品提供者 地域活動支援センター「あおぞら」の利用者

2012年ころよりほほえみの家あおぞらへ伺い、利用者の皆さんと毎月1回楽しくアート活動を行っています。皆さんが好きなパステルとその他にも絵具やクレヨンやカラーペンなど様々な画材を使い、色を楽しみ、季節に合わせた作品をつくっています。

身体に不自由さがあっても一生懸命に動かし、苦手な動作があったら職員さんやボランティアさんに少しだけ手を貸してもらい、どう仕上がるかわくわくしながら嬉しそうに取り組んでいます。お互いの完成作品を「色がきれいだね」「かわいいね」と褒めあう様子は豊かなコミュニティの光景となっています。

今回は10名の利用者の共同制作として、明るく弾むような作品をつくりました。これからも、個々の表現と楽しみを共有する時間として、ほほえみの家あおぞらでのアート活動を続けていくところです。

アート活動講師 徳永玲子



共同制作の様子



「平和コンサートinながよ」合唱団



長与町内外で活動している長与プラム混声合唱団・オレンジハーモニー・高田コールファミリエ・コーロあやめ・長崎アカデミー男声合唱団の各合唱団団員有志及び個人がコンサートの趣旨に賛同し、平和のハーモニーを発信しようと「平和コンサートinながよ合唱団」として結成されました。毎週土曜日に集まり、それぞれの曲で歌われる歌詞の願いとその合唱の響きの中に「調和の世界」への思いを皆で確認し、一人ひとりのパートの音そして各パートの音が重なり合って作り出す和音を確認合せて練習を重ねてきました。平和への思いを込めて「和の合唱」をお届けします。

また合同ステージでは、平和を願いともに歌おうと更に多くの参加者が集まり歌います。会場にお越しの皆様もどうぞ一緒に声高らかに歌い合ひましょう。



♪人は絵を描きたい (混声合唱組曲 こわしてはいけない ～無言館をうたう より)

作詞：窪島 誠一郎 作曲：池辺 晋一郎

戦後のこの国を支えつづけてきた憲法が、今、危ない。戦没画学生の作品による美術館「無言館」を主催する窪島誠一郎さんは、この「こわれそうなものをこわしてはいけない」という一心で詩を書かれた。平和は絶えざる努力が必要。このことが多くの人々の共通認識であることを信じ、日本の憲法がこわれそうな気配もなくなり、平和で穏やかな世界がつづくことを祈りつつこの曲を作曲した。(池辺晋一郎作曲。合唱組曲「無言館をうたう」まえがきより抜粋)

♪ひまわりよ (8・9集会のために)

作詞：小川 清 作曲：指方 浩

1990年8月9日長与北小学校平和集会で全児童によって歌われました。作詞は当時勤務されていた小川清先生です。平和教育に熱心で、私もその指導に共感しクラスの歌を作ったりしました。この歌は原爆で犠牲になった人々の願いを、子ども達と共に考え歩んで行きたいと思うなかから生まれました。今回、「平和コンサートinながよ合唱団」が混声三部合唱で歌います。

♪無言歌「伝える」 祈りの絵 より

作詞：指方 美智子 作曲：指方 浩

1曲目で歌われる長野県の戦没画学生慰霊美術館の移動展が、2018年、長崎県立美術館で「無言館～祈りの絵」として企画展示されました。

絵を描きたい、もっと絵を描きたい、生きよう生きようと願った人の出征を前に描かれた渾身の絵から無言の声が聞こえてきました。その感動から、私たちは何をなすべきか、如何に伝えていくか、そして歌わねばならないと思ひ歌詞が生まれました。

以上3曲を平和を希求する「序破急」として
私たちの声を届けたいと思います。

♪ ♪ ♫ ♬

出 演 者

♪ ♫ ♪ ♬

指揮	指方 浩			
ピアノ	大塚 裕子			
ソプラノ	指方美智子	下釜 奈美	下野 薫	高塚 祐子
	滝田みどり	平野みどり	水島 節子	
アルト	田中 昭子	坪田喜代子	長谷川佐紀子	浜岡まゆみ
	松尾 玲子	松本由美子	森永 ゆみ	渡邊可南子
テノール	下野 康文	横田 建次	吉田 聿憲	
バス	朝長 初巳	長谷川則昭	森永 健司	山崎 寛
合同演奏	今道 豊子	内山 睦	大久保美紀	尾形 睦
	久原岐代子	小林 結菜	猿渡 真央	辻 奈津紀
	野田 好子	松本 昌子		

プロフィール



「平和コンサートinながよ」合唱団 指揮 ^{さしかた}指方 ^{ひろし}浩 (作曲家)

長崎県生まれ。大阪音楽大学作曲学科卒業、同大学大学院修了。近藤圭・平井康三郎各氏に師事。大学院修了後長崎に帰り、長崎大学附属中学校、活水高校で教鞭を執る。その後、新しい音楽教育を求め渡米、音楽指導法をコロンビア大学教授R・ペース氏に学ぶ。

現在、指方音楽工房を経営し、ピアノ・音楽指導にあたる傍ら、東京・大阪を始め全国各地の講習会・研修会で講師を務める。

作曲作品は合唱曲・器楽曲の他、長与北小学校校歌、長与第二中学校校歌、など十数校の校歌を作曲している。またその親しみやすいメロディーの歌曲や合唱作品は全国各地で様々な人たちに毎日のように歌われている。

長崎ママのコーラス、コーロあやめ指揮者。アンサンブル「浩々」主宰。



「平和コンサートinながよ」合唱団 ピアノ伴奏 ^{おおつか}大塚 ^{ゆうこ}裕子

活水高校音楽コース、フェリス女学院音楽科卒。長崎県新人発表演奏会、西日本新人紹介演奏会に出演。姉とピアノデュオ「デュオ・スール」を結成、連弾、2台ピアノによるアンサンブル活動をしている。十八親和銀行混声合唱団他、複数の合唱団の伴奏者。長崎純心大学非常勤講師、長崎県音楽連盟運営委員。長崎音楽ボランティア協会会員。

出演者たちの練習風景
「平和コンサートinながよ」合唱団





平和の詩朗読



平和の詩

長崎県立長崎北陽台高等学校 上野 桃果

朝日が照らす町並み、
いつも通りの通学路、
いつも通りの君の横顔
それは昨日も一昨日も、
明日も明後日も変わらない
普通の日常 退屈な日常
これこそが、平和な日常なのかもしれない

朝日が照らす町並み、
昨日と同じ通学路、
昨日と同じ君の横顔
昨日と同じこの日常
いつも通りの平和な日常
この日々がいつまでも続くことを願って
私は今日も生きていく

朗読：長崎県立長崎北陽台高等学校放送部 三根 明依

私の平和

長崎市立長崎商業高等学校 高木 美佳

私の平和 その一
家族と笑い合っている

私の平和 その二
居心地のいい家でぐっすり眠る

私の平和 その三
毎日笑顔で学校に行ける

私の平和 その四
毎日おなか一杯食べられる

私の平和 その五
毎日過ごすあたりまえの日常

私には、ここには書ききれないほどの平和がある
今のあなたにはいくつある？
たくさんあったのなら、その平和を守ればいい
少ないのなら増やしていったらいい

あなたの平和は、あなた自身が決める

朗読：長崎市立長崎商業高等学校放送部 福島 美咲

届かぬ望み

長崎県立長崎北陽台高等学校 黒田 絢心

鳴り止まぬ銃の中で奪われていく
迷い子の体温 殺人の正当性
こんな血塗られた惨状の中で
抵抗者は何を思う

すり抜けていく安寧の代償は
派閥 論争 同族嫌悪 廃墟になった街
そんな灰被りの現状の中
祈りさえも褪せていく

だからこんな拡声器で詠う
ボロボロで着飾っただけの現状を

詩じゃきっと人生も何も救えない
ただの希望めいた詩で気休めな言葉

抵抗者の無垢な願いを胸に伝えるだけの詩

朗読：長崎県立長崎北陽台高等学校放送部 三根 明依

できること

長崎市立長崎商業高等学校 野田 南月

知ろう
一つの考えにとらわれないために

話そう
数えきれないほどたくさんの思いをつなぐために

聞こう
「平和」な世界の中で暮らせる意味を考えるために

動こう
全ての子どもが教室の椅子に座ること
ペンを持つことをあたりまえにするために

ひとりひとりが精一杯生きられるように
誰もが「幸せ」と笑えるように

一つでも できることを

朗読：長崎市立長崎商業高等学校放送部 吉田 廉



平和の詩掲載



個性

長崎県立長崎北陽台高等学校 安部 遙

平和って何だろう？
幸せって何だろう？
正義って何だろう？

明確な答えがあるわけでない
不明瞭な問い
人によって答えが変わる
不思議な問い

人によって変わるのならば
相反する答えはどちらが正しい？

誰かは言った
両方正しいと

ならばなぜ争うの？
醜い 卑しい 汚らわしい

人であることを嫌悪し私は…

平和の詩

長崎市立長崎商業高等学校 生田 倅花

価値観を否定されたから
自由になりたかったから
分かり合えなかったから
私たちは武器を取りました

人それぞれの価値観を 心と体の自由を
そして命を犠牲にして 私たちは争いました

何日 何ヵ月 何年過ぎて
得られたものはなんですか
失ってもよかったのだと
言い聞かせてはいませんか

やり直すことはできないけれど
傷つけあうことだけは
もうやめようと思うのです

今日を生きる私たちに 未来を創る子どもたちに
希望の持てる世界であるように

僕らは「戦争」を知らない

長崎県立長崎北陽台高等学校 谷崎 叶海

「戦争」は良くないものだ
「平和」は良いものだ
そんなことは誰でも知っている
「平和」は善だ「戦争」は悪だ
そんなこと今まで何度も聞いてきた
僕らは「平和」を知っている
僕らがいつも過ごしている当たり前の日常
不自由なく普通に生きている日常
僕らは平和に生きている
僕らは「戦争」を知らない
大切な人をいつ失うかわからない
当たり前の日常がいつ壊れるかわからない
そんな日々を僕らは知らない
そんな日々を繰り返してはいけない
僕らは「戦争」を二度と起こさぬよう
これからも「平和」に生き続けよう

平和

長崎市立長崎商業高等学校 一瀬 里菜子

風が吹く渚に満ちて
青く広がる海を見つめる
波は穏やかに寄せては返す
穏やかな平和の象徴だ

人々は笑顔を交わし
手を取り合って歩む
異なる肌の色や言葉
それぞれの個性を認め合う

兵器の数を数えるのではなく
人々の幸福度を競い合おう
争いや憎しみを捨て去り
愛と理解が溢れる世界へ

平和の灯火は絶えず燃え続け
その光が世界を照らし続ける
私たち一人ひとりが
その炎を守り育てよう

平和は必要

長崎県立長崎北陽台高等学校 重野 誠大

平和は人類を前進させ
戦争は人類を後退させる
平和は人類の生活を華美にし
戦争は人類の生活を質素にする
しかし平和は長く続かない

人類は平和を求め
人類は戦争を嫌い
人類は平和を促進し
人類は戦争を抑制する
しかし戦争は起こってしまう

人類は戦争をしてはならない
平和をつくり維持していかなければならない
そのために人類は考え続けなければならない
努力し続けなければならない

私たちにできること

長崎市立長崎商業高等学校 中田 ひなの

私が今 見ている景色は
七十九年前 焼野原だった
建物は崩れ たくさんの人が犠牲になった

八月九日 夏の暑い日
あの頃に戻って戦争をやめさせることはできないけれど
未来へ平和の大切さを伝えていくことはできる

十一時二分 あの瞬間の
片足鳥居のように原爆の恐ろしさを
クスノキのように命の尊さを
次の世代へ伝えていこう

それが私たちにできることだから



子どものための弦楽器講座



平和への思いを若い世代へ引き継いでいきたいとの願いから始まった「子どものための弦楽器講座」も、今年で16回目を迎えました。今回は小学生25名が参加し、人数が多くとても賑やかです。

ほとんどの受講生が弦楽器は未経験で、楽器の持ち方に始まり、弓の動かし方、弾くときの姿勢、楽譜の読み方など、5月からたくさんのお話を勉強してきました。

講座が開講してから、今日この舞台に立つまでわずか3ヶ月という短い期間ですが、子どもたちには、楽器からきれいな音を出せたときの嬉しさや、みんなと一緒に演奏する楽しさが芽生えています。

今日の舞台では、子どもたちの成長と、音楽を奏でる楽しさを皆様にも感じていただけることと思います。

小さなヴァイオリニストとチェリストたちの晴れ舞台に、温かいご声援をお願いいたします。



♪ちようちよう

外国民謡

この歌は、明治14（1881）年に文部省が発行した当時の唱歌の教科書だった『小学唱歌初編』に掲載され、そのとき以来現在までずっと学校で教わる歌になっています。

「ちようちよう」はスペイン民謡ともドイツ民謡ともされており、このメロディーに日本では「ちようちよう」の歌詞が当てられています。この歌詞は、愛知県に伝わる童話の歌詞を元にして、野村秋足が歌詞を書いて音楽の教科書に発表されたものです。

♪山の音楽家

ドイツ民謡

森の動物たちが楽器を演奏する子どもたちの大好きな童謡「山の音楽家」は、元々はドイツ民謡で、いろいろな楽器を弾く人たちのことを歌った歌曲です。

日本では、いろんな動物たちがその姿や雰囲気似合った楽器を手にして紹介するというような楽しい童謡になりました。

♪キラキラ星変奏曲

作曲：鈴木 鎮一

『キラキラ星変奏曲』は、18世紀末のフランスで流行したシャンソン。1806年の『Twinkle, twinkle, little star』が童謡として世界的に広まり、日本には大正時代に紹介されました。

鈴木鎮一氏がこの曲を元に作曲しました。

♪ ♪ ♫ ♪ ♫ **出演者** ♫ ♪ ♫ ♪

- 受講生 ヴァイオリン**
- 小1 永田 滯 松元 大和 村山 椿 山口まなか
 吉川 凜
- 小2 川口莉恵子 鶴田 健人 久松 壺和 久松 沙和
 藤吉 璃來 峰 侑史
- 小3 生田 恵真 扇元 詩月 谷川 愛奈 芳村 美怜
- 小4 伊東 柚蓮 田村かりん 峰 和花
- 小5 上田 然 浦方 寧音
- チェロ**
- 小3 中尾 柊太 村尾 菜帆
- 小4 中尾 春翔 林 咲来
- 小5 高柳 実希
- 指導者**
- 指揮** 齊藤 享
- ヴァイオリン** 梶 耕輔 時津 仁美 山本 博子
- チェロ** 池田 晴子 村山 和聡
- ピアノ** 中野みさと

プロフィール



子どものための弦楽器講座
 「平和コンサートinながよ」ジュネス弦楽アンサンブル さいとう あきら
 指揮・ヴァイオリン指導 **齊藤 享**

4歳よりヴァイオリンを始める。国際スズキ・メソッド音楽学院卒業。1992年フィラデルフィアに留学。グレン・ドーマン博士の人間能力開発研究所にてヴァイオリン指導も行う。

これまでに安田廣務、鈴木鎮一、ジュリアン・マイヤーの各氏に師事。1996年スズキ・メソッド長崎支部を開設、子ども達の指導にあたる（長崎市岩川町、つつじが丘教室、大村教室で行っている）。長崎OMURA室内合奏団に所属。

2010年から2022年まで毎年8月9日、長崎の平和祈念式典において、被爆者歌う会『ひまわり』の伴奏を務める。長崎県音楽連盟会員。長崎音楽ボランティア協会会員。その他、イベント会場や披露宴、チャペル等に於いて、クラシックに限らず多彩なジャンルでの演奏活動を各地で行っている。



子どものための弦楽器講座 チェロ指導 いけだ はるこ
池田 晴子

武蔵野音楽大学弦楽器専攻卒業。
 チェロの指導及び、弦楽器アンサンブル等の指導をしている。
 諫早市在住。

出演者たちの練習風景

子どものための弦楽器講座



出演者たちの練習風景
ジュネス弦楽アンサンブル



♪ 「平和コンサートinながよ」ジュネス弦楽アンサンブル ♪

「ジュネス弦楽アンサンブル」は、「子どものための弦楽器講座」の卒業生有志によって結成され、来年2月には正式発足から丸15年を迎えます。町の皆さまの温かな眼差しと、多くの先生方の支えで、今日まで活動を続けてこられました。15年前にこの平和コンサートで生まれた子どもたちの小さな芽吹きは、今では学生・社会人と各々の場所で、美しい花や確かな実りを見せ始めました。可愛い芽はその後毎年このコンサートで生まれ、育まれています。今回は久しぶりに、ジュネス1期生が平和コンサートに戻ってまいりました。芽を絶やさぬよう、喜んでいただける演奏が披露できるよう、ジュネスはこれからも子どもと大人が手を取り合い、頑張ってまいります。



♪ 教会ソナタ ト長調 K.274

作曲：モーツァルト

モーツァルトが活躍していた1770年代の教会では、オペラのように長大で華麗なミサの典礼音楽が演奏され、娯楽色が強まっていました。時の皇帝ヨーゼフ2世は、この傾向を改め、ミサの簡略化を推進しました。そうして書かれた曲が「教会ソナタ」です。教会ソナタは必ずしも教会で演奏するために作曲されたものではありませんが、教会での演奏に向かない世俗的な舞曲集を「室内ソナタ」と呼ぶのに対し、そうでないソナタが便宜上「教会ソナタ」と称されています。

モーツァルトは17曲の教会ソナタを残しています。いずれも教会から連想する厳かな雰囲気とは対照的に、軽快で馴染みの良い調べです。

♪ ひこうき雲

作曲：荒井 由実 編曲：松原 幸弘

「ひこうき雲」は、荒井由実（松任谷由実）さんの2枚目シングルのB面曲で、1枚目のアルバムの表題曲にもなりました。この曲は、彼女の小学校時代の同級生が病により高校1年生の時に亡くなったことをきっかけに制作されました。2013年には、スタジオジブリ制作の映画「風立ちぬ」の主題歌に採用されました。

♪ 道標

作曲：福山 雅治 編曲：林 友行

「道標」は、報道番組「NEWS ZERO」のエンディングテーマ曲として長らく親しまれました。同番組のキャスターを務めていたヴァイオリニスト・宮本笑里さんがコラボレーションした「道標2010」は、福山雅治さんのベストアルバムに収録されています。

歌詞に登場する「あなた」や「その手」は福山さんの母方の祖母をイメージしているといいます。番組から曲制作の依頼をされた時のテーマは「命」。楽曲についての2009年インタビュー記事には、「最近、自分の外見も性格もばあちゃんによく似ていることに気付き、それがとても嬉しかった。命は確実に受け継がれている。当たり前だけど大切なこと。そんな思いを曲に込めました。」「戦争や悲しい事件を歌っても、リアリティがない。僕が伝えられるのは、身近な人への想いや触れ合いの中で感じたこと。そこから何かが伝わればと思っています。」と書かれています。

♪ ♪ ♫ ♪ ♫ **出演者** ♫ ♪ ♫ ♪

ヴァイオリン

- 8期生 小田川 尊 (社会人) 中野 弾 (中2)
 11期生 二又 凜心 (小6)
 12期生 川口 葉琉 (小5) シャルマ カヴィヤ (小5)
 13期生 森脇 愛依 (中2) 福田 修子 (中1) 木下 翔太 (小6)
 溝田りおな (小6) 中野 喜 (小4)
 14期生 永 翔匡 (中1)
 15期生 才津 啓真 (小5) 尾田幸志朗 (小2) 栗屋 響暉 (小2)
 有志 二又 聡子 (保護者) 森脇 正樹 (保護者) 吉村 由紀 (卒団生保護者)

チェロ

- 15期生 中村 志穂 (小5) 藤本 遥斗 (小5)
 有志 上河麻衣子 (卒団生保護者)

賛助出演 日高 聖 (ヴィオラ) 溝田 雪代 (ヴィオラ)

指揮 齊藤 享

ピアノ 中野みさと

指導者 梶 耕輔 岩永 雅子 山本 博子

合同演奏 山本 武蔵 (1期生・ヴァイオリン)

プロフィール



子どものための弦楽器講座
 「平和コンサートinながよ」ジュネス弦楽アンサンブル なかの **中野みさと**
 ピアノ伴奏

神戸女学院大学音楽学部卒業。ピアノを石毛明生・田隅靖子・池田洋子・K.Draftの各氏に、室内楽を辻井淳氏に師事。日本ピアノコンクール東京本選第3位等の受賞歴。在学中、卒業後も、NY Summit Music Festivalに参加し、E.Briskin・P.Nersessian・D.Joffeの各氏のレッスンを受け、ソロ・室内楽の両演奏会に出演。国内では、堺新人演奏会や大阪ロシア総領事館での室内楽演奏会等に出演。合唱やヴァイオリン、マリンバの伴奏を務め、ヴァイオリン・琴・ピアノの異色トリオ活動も行っていた。現在は子育て真っ只中で、自身の音楽活動はお休み中。



長崎OMURA室内合奏団



長崎県央に位置するシーハットおおむら（さくらホール）を拠点に、プロの室内オーケストラとして、県内在住及び出身演奏家等を中心に2003年結成、追昭嘉（ピアノ）を音楽監督として始動。2009年よりアーティスティック・アドバイザーに松原勝也（ヴァイオリン）を迎え、さらなる演奏力や音楽性の向上に努めながら質の高い室内オーケストラを目指している。日本オーケストラ連盟準会員。



♪フルート四重奏第3番ト短調 作品69

作曲：G.A.シュナイダー

ゲオルグ・アブラハム・シュナイダーは1770年、ドイツで生まれました。

同年に生まれた偉大なる作曲家、ベートーヴェンの功績の陰に隠れて、現代ではあまり知られていない作曲家かもしれません。

作曲した楽譜の多くは未だベルリンの国立図書館に眠ったまま、肖像画やその人柄が伺えるエピソードも残っていない。

一見不遇な気もしますが、情報が少ないからこそ、私達はその音楽を聴くことで彼が見た景色を自由に想像し、味わう楽しみを与えてもらっているのかもしれません。

1楽章冒頭は、フルートが憂いの中に凜とした気品溢れる旋律を奏でます。次第に白熱するアンサンブルが時折、弦楽三重奏に引き継がれるところも聴きどころ。

のどかな田園の中を散歩しているような2楽章をぬけると、3楽章は疾走感溢れるテーマから始まり、その熱量が途切れることなく曲の最後まで貫かれます。

この曲を作曲した時シュナイダーは40歳前後。余談ですが、「長与平和コンサート」をきっかけに長いお付き合いになったこのチームもいつの間にか平均年齢40歳。

作曲当時の彼に淡い仲間意識を抱きながら、今年もエネルギッシュな演奏をお届けしたいと思います。



「平和コンサートinながよ」アウトリーチコンサートを実施しました!

「平和コンサートinながよ」の一環としてアウトリーチコンサートを町内の小中学校2校で実施しました。(6月3日:長与中学校、6月4日:洗切小学校)「アウトリーチ」とは「手を伸ばす」という意味で、演奏家から観客に手をさしのべ、音楽に触れる機会を提供することが目的です。

今年も「平和コンサートinながよ」に出演する「長崎OMURA室内合奏団」のプロの演奏家4人が小中学校に向き、美しい音色を披露しました。普段接することのない生演奏に子どもたちは興味津々で、熱心に聞き入っていました。





♪千羽鶴

作詞：横山 鼎 作曲：大島 ミチル 編曲：三河 正典

戦争によりその犠牲になった方々に花を手向けると同じく、千羽鶴を折る行為は、平和を願う意思表示でもあります。そのことを歌として歌う演奏行為は、その歌声を聞き内唱される聞き手と一緒に平和を希求する決意となり生活の中で行動となることでしょう。被爆地長崎より生まれたこの曲を、平和への願いを込めて歌いたいと思います。

♪花は咲く

作詞：岩井 俊二 作曲：菅野 よう子 編曲：三宅 一徳

2011年3月11日に発生した東日本大震災の被災地および被災者の物心両面の復興を応援するために制作されたチャリティーソングです。多くの人によって歌い継がれていますこの曲は、地球規模の気象変動による災害や、世界各地の紛争・戦争による犠牲者を含めその亡くなられた方々の彼岸の世界から、真の花が咲いていない此の世界に住む私たちへの応援メッセージと受け取れます。「希望を持って頑張れ」と、「花はきっと咲く」と。

この曲を亡くなった方々から私たちへの願いとして頂いて、皆さんと一緒にその思いを受けとめ伝えていきたいと思います。

♪長与町町歌「明日をひらく」

作詞：山田 喜孝 作曲：指方 浩

1989年（平成元年）長与町町制施行20周年を記念して制作され、長与町合唱連盟7団体百余名によって制定式典で歌われ披露されました。春休み・夏休み・冬休みの夕方、児童生徒の帰宅を促す町歌のメロディーがチャイムの響きで町内に流れています。ここ長与町に住み続けることにより豊かな美しい平和な町になりますように、そういった「明日をひらく」町になることを願い、共に歌っていきましょう。

♪ふるさと

作詞：高野 辰之 作曲：岡野 貞一

私たちは一人ひとりそれぞれ生まれ故郷を持っています。そのそれぞれの故郷を思って歌うとき、共通の理想郷としての「ふるさと」が心の中に描かれ共有されていきます。

その理想郷から照らし出された豊かな「ふるさと」をここに実現し、生き生きと共に歌い生活していきましょう

長与町町歌

— 明日をひらく —

作詞 山田 喜孝
作曲 指方 浩

Allegretto *C mf*

1. みどりよ やまよ さやか なかぜ よそら
2. ひか りば よか わみ ささ やか なかぜ よそら
3. ぎん ぱ よか わみ ささ やか なかぜ よそら

はれく ましす み て こ と の お の や ま
く やさし い こ と の お の や ま
のぞ すい その の に ひ ら けい た る う つ
や いく れ まき ち いた だ よ たき っ て ゆ ー
くたい しかわ いな ささ とと わがが まま ちち なな がが よよよ
1~3. あ い と こ こ ろ と ふ れ あ い の
ゆ め と のぞ み が ふ く ら ん - で
あしたを ひらく こえはずむ あし
たをひらく こえはずむ

一、緑よ 山よ さやかな風よ
空は真澄みて 琴の尾の
山のすそ野に ひらけたる
美しい里 わが町長与
※愛と心と ふれあいの
夢と望みが ふくらんで
明日をひらく 歓声はずむ
明日をひらく 歓声はずむ

二、光よ 川よ さやかな風よ
流れ静かに 長与川
川沿いの町 生き生きと
豊かな里 わが町長与
※(繰り返し)

三、銀波よ 海よ さやかな風
広く優しい 琴の海
輝く歴史 漂って
平和な里 わが町長与
※(繰り返し)

2024平和コンサートinながよ

♪人は絵を描きたい

作詩：窪島 誠一郎 作曲：池辺 晋一郎

人はみな 絵を描きたい
生きている 自分を描きたい
生きている 仲間を描きたい
生きている 世界を描きたい
愛する ちちははを描きたい
愛する ふるさとを描きたい
愛する あなたを描きたい

一台の戦車も 一つの武器も
傷つける者も 傷つけられる者
もない

この地上に 生きるものすべての
笑顔を描きたい

人はみな 絵を描きたい
おとずれる 明日を描きたい
おとずれる 未来を描きたい
おとずれる 季節を描きたい
あの日の 思い出を描きたい
あの日の 夕焼けを描きたい
あの日の ふたりを描きたい

憎しみも争いも 銃も剣も
飢えている人も 故郷を失う人
もない

この地上に 生きるものすべての
いのちを描きたい

人はみな 絵を描きたい
人はみな 絵を描きたい

♪ひまわりよ（8・9集会のために）

作詞：小川 清 作曲：指方 浩

一、緑の光を うけながら
ゆらりと 高い ひまわりよ
あなたが どっしり ねを
おろし
がっしり つかんだ その土の
土の中から よぶでしょう
あの日 あの朝 子どもらの
ろじや あき地や こうていで
明るく かわした あいさつや
あそびに さそう よび声で

二、しろい日ざしに たえながら
天まで のびる ひまわりよ
あなたが しっかり ねを
はって
いのちを もとめた その土の
土のそこから 聞こえるでしょう
あの日 あのとき 子どもらの
ほのおや けむりや がれきの
中で
水を ほしがる うわごとや
母を もとめる つぶやきが

三、金のしずくを あびながら
あしたを めぎす ひまわりよ
あなたが 落とした たねたちを
やさしく うける その土の
土の下から ひびくでしょう
あの日 あのあと 子どもら
のおかや 岸辺や やけあとで
いくさを かなしむ ためいきや
平和を いのる ささやきが

♪無言歌「伝える」 祈りの絵 より

作詞：指方 美智子 作曲：指方 浩

今 伝えねばならない
すぐ 伝えねばならない

何ができるかわからないけど
呼びかけられる声に応じて
忘れないと 決意をもって

すべて奪われたあなたの声を
私は 伝えねばならない

生きていたいと願った声を
いのちを守るために
何をなすべきか

また繰り返されるおろかな毎日に
声を上げる

私にできること

いのちまもれと呼びかける

二度と争うことなく手を繋げと

そして必ず
大切な願いを伝える

伝えてと
無言で語る 声が聞こえる
だから

あなたの願い 伝えていくよ
今

歌わねばならない

vol.25 歌詞集



♪千羽鶴

作詞：横山 鼎 作曲：大島 ミチル 編曲：三河 正典

平和への誓い新たに 緋の色の鶴を折る
清らかな心のままに 白い鶴折りたたみ
わきあがる熱き思いを 赤色の鶴に折る

平和への願いをこめて 緑なる鶴を折る
地球より重い生命よ 藍の鶴折りたたみ
未来への希望と夢を 桃色の鶴に折る

平和への折りは深く 紫の鶴を折る
野の果てに埋もれし人に 黄色い鶴折りたたみ
水底に沈みし人に 青色の鶴を折る

未来への希望と夢を 虹色の鶴に折る

♪花は咲く

作詞：岩井 俊二 作曲：菅野 よう子 編曲：三宅 一徳

真っ白な雪道に春風香る わたしはなつかしい
あの街を思い出す 叶えたい夢もあった
変わりたい自分もいた 今はただなつかしい
あの人を思い出す 誰かの歌が聞こえる
誰かを励ましてる 誰かの笑顔が見える
悲しみの向こう側に
花は花は花は咲く いつか生まれる君に
花は花は花は咲く わたしは何を残しただろう

報われず泣いたりして 今はただ愛おしい
あの人を思い出す 誰かの想いが見える
誰かと結ばれてる 誰かの未来が見える
悲しみの向こう側に
花は花は花は咲く いつか生まれる君に
花は花は花は咲く わたしは何を残しただろう
花は花は花は咲く いつか生まれる君に
花は花は花は咲く わたしは何を残しただろう
花は花は花は咲く いつか生まれる君に
花は花は花は咲く いつか恋する君のために

夜空の向こうの朝の気配に わたしはなつかしい
あの日々を思い出す 傷ついて傷つけて

♪ふるさと

作詞：高野 辰之 作曲：岡野 貞一

一、うさぎ追いし彼の山
こぶな釣りし彼の川
夢は今もめぐりて
忘れがたきふるさと

二、いかにいます父母
つつがなしやともがき
雨に風につけても
思いいづるふるさと

三、志をはたして
いつの日にか帰らん
山は青きふるさと
水は清きふるさと



PROGRAM

14:00 開演 16:00 終了予定

町長挨拶

- | | | | |
|------------|-------------------------------|---------------------------|---|
| ① | 人は絵を描きたい
ひまわりよ
伝える | 合唱
指揮
ピアノ | 「平和コンサートinながよ」合唱団
指方 浩
大塚 裕子 |
| ② | 平和の詩朗読 | 朗読 | 長崎県立長崎北陽台高等学校生徒
長崎市立長崎商業高等学校生徒 |
| ③ | ちょうちょう
山の音楽家
キラキラ星変奏曲 | 子どものための弦楽器講座
指揮
ピアノ | 齊藤 享
中野みさと |
| 休 憩 (10分間) | | | |
| ④ | 教会ソナタ ト長調K.274
ひこうき雲
道標 | | 「平和コンサートinながよ」ジュネス弦楽アンサンブル
指揮 齊藤 享
ピアノ 中野みさと |
| ⑤ | フルート四重奏
第3番ト短調 作品69 | | 長崎OMURA室内合奏団
永留 結花、中西 弾、田辺 清士、岡本 誓志 (賛助) |
| ⑥ | 千羽鶴
花は咲く
長与町町歌「明日をひらく」 | 合唱
指揮
ピアノ | 「平和コンサートinながよ」合唱団
指方 浩
大塚 裕子
長崎OMURA室内合奏団
「平和コンサートinながよ」ジュネス弦楽アンサンブル
子どものための弦楽器講座指導者 |
| ⑦ | ふるさと | | 出演者一同 |

「平和コンサートinながよ」実行委員会

委員長 指方 浩 副委員長 中西 弾

委員 平野 義久 梶 耕輔 時津 仁美

会場アナウンス：長崎県立長崎北陽台高等学校放送部 宮部 滯・江原 風花

主催：長与町・長与町教育委員会・平和コンサートinながよ実行委員会

共催：長与町文化協会